

特集

2×4コンポーネント
下

2×4業界でも公共建築物等木材利用促進法の施行により、非住宅の木造建築物を建設するケースが増えている。特に高齢者施設、幼稚園、保育園などの物件が多く、高齢者新設では厚生労働省の

×4工法による耐火構造認定を取得しており、今年9月末までの累計で1620棟もの耐火構造の建築に採用されていることで、その普及度合いが分かる。石膏ボードを2重張りすることで木造躯体部

使用できるような遮音性の高い二重床や天井を認定耐火構造のスチール軽天地として、床と完全に分離するなど工夫している。施工は三井ホームが担当した。トラス構法との併用で、大空間

非住宅分野にチャンスあり

基準で耐火構造を求めているケースもあり、これが2×4工法にとつては対応しやすい状況にある。

例えば特別養護老人ホームで2

分は見えないが、耐火だけでなく、遮音性能も向上し、木造共同住宅などでも音の問題の解決にも寄与する。吉野石膏が建設した蔵

を取りやすいことなどメリットもあり、三井ホームでは非住宅分野の木造建築への取り組みを強化している。2×4コンポーネント会

階建て以上の場合、耐火建築物を求めるケースが多く、日本ツーバイフォー建築協会とCOFIで2

波台社宅プロジェクトは国土交通省の木のまち整備促進事業の補助事業に採択されたもので、分譲で

社でも大スパンの取れる木造建築物の提案ができるよう各社取り組みんでいる。(特集は11面まで)

非住宅への取組み後押し

CAD/CAMで合理化提案

ネットイーグル

09年4月に施行された改正省エネ法では、チェーン展開する流通業界や外食産業が新たに規制対象となり、300平方メートル以上の建築物に省エネ措置が義務付けられた。コンベイヤレストランがこれに当たりますが、RCやS造で対応しようとすれば外断熱を強いられ、コスト面で木造が有利になる。

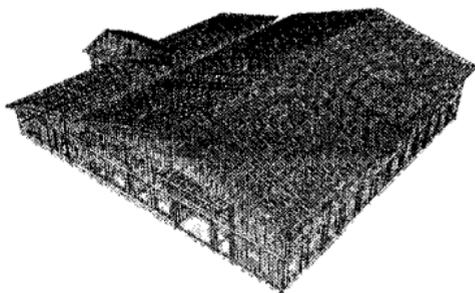
算が正確なこと、小屋組の3次元加工まで含めてCAD/CAMで全自動加工できること、部材データと間取り、仕様から性能表示制度に対応した構造子エックと温熱計算が効率化できることなどが特徴で、大手賃貸住宅会社を採用したことによって急速な普及が進んでいる。

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は2×4CAD/CAMシステムの供給を通じて業界に非住宅分野への参入を促している。非住宅分野の木造といえば公共建築物

さらに改正高齢者住まい法では、今月20日からサービス付き高齢者住宅の登録制度が始まり、新たな賃貸住宅として市場拡大が見込まれている。

木造の利点はコスト競争力だけでなく、法定耐用年数がRCの47年に比べ22年と短く、減価償却が早いこと、また、500平方メートル以上の建築物の場合、構造計算の適合性判定に回るRCは建築確認の審査期間が最大で70日かかるのに対し、適合性判定が不要な木造は35日で済むことなど様々。

が注目されているが、改正省エネ法や改正高齢者住まい法の施行で木造の非住宅建築の増加が見込まれているためだ。



非住宅分野は低コストで耐火建築に対応できる2×4が有利

同社のCADは加工データから木造は35日

拾いするため